

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「次世代情報社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

AI・ビッグデータ・IoT を駆使した Human-centric デジタルツインによる新たな未来社会デザイン

3. 研究開発課題名

共同住宅の震災デジタルツインによる強レジリエント社会実現

4. 研究開発代表者名(機関名および役職は評価時点)

梶原 浩一(防災科学技術研究所都市空間耐災工学研究領域 兵庫耐震工学研究センター 特別研究員)

5. 評価結果

評点: A 優れている

総評:

本研究開発課題は、共同住宅における地震時の建物被害や住民行動を予測する震災デジタルツインを構築することで、住民視点の地震に対するレジリエンスの計測や共同住宅の防災計画の立案などに活用し、社会全体のレジリエンス向上への貢献を目指すものである。

探索研究においては、現実に応じた入力地震動波形の計算手法、建物やエレベータの地震応答の解析技術などの要素技術を開発したほか、住民へのヒアリングなどのアクションリサーチを実施し、震災デジタルツインのプロトタイプを構築したことは評価できる。

今後は、要素技術の連携・統合を進めるとともに、ユーザーズに即したサービスの創出・ビジネス化など、社会実装にむけた研究開発が発展することを期待する。

以上